



年明け早々、まだ新型コロナウイルスの問題が深刻化する前の時期に大阪の《あべのハルカス》へ行ってきました。今考えると、この時に現在のような状況を誰が想像できたでしょうか。。。

今回はこういう時だからこそ、あえて私自身もいい思い出になったことを記したいと思います。

あべのハルカスはビルとしては日本一の高さを誇り、高さは300mあります。新しいタイプの複合型商業施設をコンセプトに建設された百貨店で最先端の大規模オフィスや文化を楽しめる都市型美術館、ホテルや貸会議室などサービス内容はさまざまです。

最上階60階まではエレベーターで一気に上がっていきます。正確には16階ー60階へのエレベーターで約45秒で到着します。そのエレベーターも一工夫されていて、宇宙空間で宇宙船に乗っているかのような気分させてくれる演出がなされています。

60階に到着し、さあ景色を楽しもうと窓際に足を進めたときに、あまりの高さに足がすくんでしまいました。子供の頃は高いところは平気だったのが、最近では高いところが以前にも増して苦手になっていることにあらためて気づかされます。

「ハルカス300ヘリポートツアー」に参加しました。60階が最上階ではあるのですが、そのまたさらに上の屋上にあるヘリポートに上がって風を感じることができるツアーです。これには意外にも足はすくまず、夕焼けが地平線に沈もうとする時間帯だったこともあり、とても神秘的な時間を過ごすことが出来ました。

右の写真は期間限定でちょうど開催されていたイベントで、ガラス窓面や床面にプロジェクションマッピングを投影した「CITY LIGHT FANTASIA by NAKED」です。今回のテーマは「Crystal World」。空から降る雪やクリスタルが夜空の街をひとつにつなげ、大阪では見ることのできないオーロラやダイヤモンドダストなど、自然界が創り出す奇跡的な現象と夜景を融合させた幻想的な世界を演出しているそうです。

58階には天空庭園にそびえたつ、通称「ツインタワー」と床面を一体的に用いた大空間での3Dプロジェクションマッピングが 있었습니다。ツインタワーから流れ落ちる滝と床面の湖の映像が連動し、ダイナミックな迫力で投影されるほか、ツインタワーに触れる、床面を歩くなど、人の動作に連動して映像が変化する演出もあり、観て、触れて、幻想的な世界を楽しむことができました。前々回のFP情報通信で報告しました佐賀県武雄市の御船山楽園で開催されていた「チームラボ かみさまがすまう森」でも同じような体験をしていたので驚きは以前よりはなかったのですが、子供たちは満面の笑みでそれらで遊んでいました。

